

新庁舎等建設基本

防災拠点機能の確保と市民サービスの



市では、平成31年3月に策定した「八千代市庁舎整備基本計画」に基づき、新庁舎建築工事の基礎となる基本設計書の作成を進めてきました。このたび、有識者等を委員とする検討委員会やパブリックコメントなどの意見を踏まえ、建物の構造や各階のレイアウトなどをまとめた「八千代市新庁舎等建設基本設計書」を作成しましたので、概要をお知らせします。

基本設計書の作成にあたって

市は、令和2年3月に「八千代市新庁舎等建設基本設計書」を作成しました。基本設計書では、新庁舎建設にあたり、建物配置やフロア構成、必要な機能や設備、建物デザインなどをまとめています。

庁舎整備基本計画で掲げている新庁舎の5つの基本理念「①市民の安心・安全を支える庁舎、②市民サービスの向上を目指した庁舎、③市民に開かれた庁舎、④人や環境に優しい

庁舎、⑤効率的・機能的で経済性に優れた庁舎」に基づいて、基本設計のコンセプトを5つまとめました。

■設計コンセプト

- ・市民を迎え入れるハの字に開かれた庁舎
- ・まちに開く「交流プロムナード」
- ・災害時にも機能する「市民ホール」
- ・ふらっと立ち寄れる「公園のような庁舎」
- ・機能的でフレキシブルな「ユニバーサルオフィス」

設計コンセプトは、4・5ページ下部にイラスト付きでそれぞれ紹介しています。

設置します。敷地内に点在している倉庫は新設する倉庫棟に集約し、第二別館は改修して上下水道局庁舎に転用します。別館は他の公共施設としての活用方法を検討しています。

〔新庁舎の配置計画〕



新庁舎の計画概要

- ・建設地 現本庁舎敷地
- ・構造 鉄骨造、基礎免震構造
- ・階数 地上5階
- ・延べ面積 17,925.49㎡
- ・駐車台数 来庁者駐車場229台、
車いす駐車場6台
- ・駐輪台数 駐輪場52台、
バイク置き場11台

地上5階建てで 現本庁舎の敷地に建設します

新庁舎は、地上5階建ての鉄骨造で、現本庁舎の敷地に建設し、基礎免震構造の採用を予定しています。

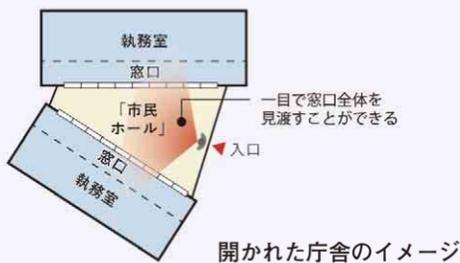
規模については、基本計画において18,500㎡と設定していましたが、事業費削減の観点から17,925.49㎡と設定しました。

新庁舎は敷地の北西側に配置するとともに、車輛出入口は都市計画道路3・4・1号線(新川大橋通り)及び市道庁舎・村上橋線に

市民を迎え入れる

ハの字に開かれた庁舎

- ・初めて訪れる人でもわかりやすいシンプルで明快な施設構成
- ・プライバシーに配慮した窓口など来庁者が安心して利用できる環境



開かれた庁舎のイメージ

まちに開く

「交流プロムナード」

- ・市民と行政の多様な協働を支える場
- ・休日・閉庁時も市民が集まり、まちに賑わいを創出



交流プロムナードイメージ

災害時にも機能する

「市民ホール」

- ・耐震性能の確保と、72時間以上業務継続可能な施設計画
- ・災害時に多目的に機能転換するフレキシブルな空間



市民ホールイメージ

広告

広告